

《ご協力ありがとうございます》 とうや 医療福祉グループは 新型コロナウイルス感染防止に全力を尽くしております。

令和2年7月豪雨により犠牲になられた方に謹んでお悔やみ申し上げますと共に、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

社会福祉法人百八会 地域交流紙

さくら 樹

秋号

Vol.59



表紙：ご利用者とショートステイ職員

～ 法人合併のお知らせ ～



医療法人清和会
社会福祉法人百八会
理事長 東野 裕司

令和 2 年 10 月 1 日付けで、医療法人清和会と医療法人加来会は法人合併し、医療法人清和会として新体制でスタートすることとなりました。

水前寺とうや病院・平成とうや病院・慶徳加来病院・老人保健施設シルバーピア水前寺・特定施設シルバーピアグランド通り・在宅ステーション水前寺、関連施設の特別養護老人ホームシルバーピアさくら樹の各施設がシームレスに連携し、微力ではございますが、地域包括ケアシステム・地域医療福祉の発展に寄与して参る所存ですので、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新しくグループに仲間入りしました^{けいとくかく}慶徳加来病院です



医療法人清和会
慶徳加来病院
院長 加来 裕

慶徳加来病院は、練兵町で 90 年余り「家族でありたい」を理念として内科・小児科の診療を行って来ましたが、後継者がいないため今後の運営について悩んでいました。そこに医療法人清和会理事長の東野先生よりご提案を頂き、当院が現在力を入れている訪問診療やそのバックベッドとしての役割を生かせるのではないかと考え、合併を決めました。迫り来る 2025 年問題や With Corona の時代に、とうや医療福祉グループの一員として地域医療に携われる事に喜びと安心を感じています。よろしくご指導下さい。

※住所等は最終ページに掲載

敬老の日に「花かご」のプレゼント

9 月 21 日(月)、公益社団法人熊本法人会(竹下 英会長)より、多年にわたり社会に貢献してこられた高齢者の皆様に敬愛し長寿を祝う敬老の日に合わせて、ピンク色を基調とし白い胡蝶蘭をアクセントにあしらった上品な花かごの寄贈を賜りました。

さっそくデイの敬老会会場に飾らせていただき、お祝いの席にふさわしいとても華やかな雰囲気が演出できました。

ご寄贈くださった熊本法人会様に感謝を申し上げます。



上品で華やかな花の贈り物



特養さくら樹日記

秋祭り開催

9月15日(火)、2階のレクリームで入居の秋祭りを開催しました。ご入居者は密を避け、ユニットごとに時間差で会場入り。魚釣り、輪投げ、紐くじなどのゲームブースの中、ひととき目立つ『ワニワニパニック(ワニたたき)』を発見しました！

段ボールを切り貼りしたり、ご入居者に色を塗ってもらったりして完成させたそうです。コインを入れる投入口もあり、ワニの表情一つ一つが異なっていて、芸が細かいなあと感じました。ご入居者、職員ともに楽しそうな表情をたくさん撮影できて広報担当的に満足な一日でした。

コロナ禍でイベントもめっきり少ないですが、感染対策を万全に安心安全に開催できたらいいですね。

(事務部 広報担当)



環境に優しく人力で動かします



輪投げや魚釣りも楽しそうでした

足湯はじめました

7月22日(水)足湯「さくら湯」がオープン！ビニールプールを利用し、アイデア溢れる足湯になりました。日本全国の有名温泉を模した、各種温泉の素も溶け込んでおり、温浴効果も期待できそうな「足湯」でした。皆さまとても満喫された様子で、楽しいレクリエーションに笑顔が沢山あふれていました。

(事務部 広報担当)



「湯加減はいかがですか？」
「はあー、いい湯なこと」



「温まるわね～」

LINE 面会

8月19日(水)タブレット端末を使用し LINE による面会をおこないました。今回は画面越しに、ご主人がカラオケを歌うという一風変わった試みでした。画面越しに伝わる、ご主人の想いに素晴らしい夫婦の形を垣間見ました。今後もこのような機会が増えればいいなと思い、見ている方も優しい気持ちになりました。

(事務部 広報担当)



熱唱中のご主人

新型コロナウイルスに伴う面会制限について(おねがい)

厚生労働省より、新型コロナウイルス感染症について対応策の要請が出ております。高齢者は重症化しやすいため、引き続きご来設の際に健康チェック(簡易問診、検温、手指消毒)をお願いしています。さくら樹では現在、他の介護保険事業者や営業目的の方などの立入を制限しております。今後も国の動向を確認しながら進めてまいります。ご迷惑をおかけいたしますが、感染拡大防止のため、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

さくら樹デイサービス日記



日常の感染予防対策



さくら樹デイサービスでは、年間を通して感染症の予防に努めています。新型コロナウイルス感染拡大以前より日常におこなっている取り組みをご紹介します。

- ① デイサービス到着後「せっけんで手洗い」と、殺菌作用の効果が期待できる「緑茶でのうがい」
- ② 手指の消毒は、トイレの前後、水分提供時、昼食前、おやつの前などにアルコールを使用してこまめに
- ③ 室内の換気にも努め、午前と午後の室内換気
- ④ ご利用後の机、椅子、人の手が触れる部分の消毒



しっかり手指消毒



ドアノブも消毒



新型コロナ感染予防対策



上記にくわえ、新型コロナウイルス感染予防対策については、出勤前に全職員自宅で検温し、風邪、せき、鼻水など症状がないか確認しています。またマスクの着用を徹底し、再度就業前に検温を行っています。ご利用者に対しては、お迎え時の検温、車内でのマスク着用をお願いし、2時間毎の換気。人が触れるドア部分、机、椅子はもちろん、送迎車についても使用前、使用後入念にアルコール消毒をおこなっています。マスクについては 100%の着用率です！！

それから利用者の間隔を意識し密にならないような席の配置と、ご利用者、職員を2グループに分けて運動やレクリエーションをおこなっています。職員の私物を保管するロッカーやトイレの場所もグループで分けて使用するなどして予防に努めています。

ご利用者やご家族にも数々のご理解・ご協力をいただき感謝致しております。おかげ様で一人の感染者を出す事もなく、皆さま元気にデイサービスをご利用頂いています。

さくら樹では、日々の習慣として感染症対策を継続していきますのでこれからも安心してご利用ください。

通所介護事業所
准看護師 永野香代子



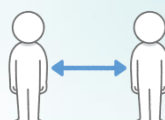
品不足が続いたマスクも、最近では数種類も豊富となり、今ではファッションの一部としてご利用者も職員も抵抗なく楽しんで着用しているようです。



マスク着用 100% !



手洗いも忘れずに



密にならない！

無事に戻られました

令和2年7月豪雨により、犠牲になられた方に謹んでお悔やみを申し上げますとともに被災された方々にこそよりお見舞い申し上げます。

令和2年7月豪雨災害により、芦北の特養「五松園」より避難されていたI様が、8月28日無事に五松園へと戻られました。私達の思いは、来た時と同じ元気なI様のまま五松園に帰っていただくことでした。

1ヶ月以上さくら樹でお過ごしいただき、やっと慣れた頃にお別れ…。出身地や、過去にされていた仕事のことをよく話してくださいました。話しかけると「私はいつ帰れるの?」と聞かれていましたが、ようやく住み慣れた芦北に戻る日が決まり、安心されたことと思います。施設の様子も被災直後と比べると綺麗になっており、着実に復興している…と感じました。

I様が過ごしたすみれユニットで、いつも言われていた「はははのは～(笑)」が聞けなくなり何だか寂しい今日この頃。きっと今頃五松園で歌われている事でしょう。

今回の受け入れを通じ、私達特養のスタッフも貴重な体験をさせていただきました。うまくは言えませんが、これからも同様のことがあれば、可能な限り他施設でも協力し、助け合っていきたいと思います。しかし、災害は起こってほしくありません。でも備える事は出来ます。あらためて、施設や自宅の災害対策を見直すと共に、今回被災された方々に早く笑顔が戻ることを願っています。「負けんばい! くまもと!」

入居部生活相談員
春田 亜希子



I様と相談員の春田さん



お見送り前に記念撮影



無事にお見送り



熊本産マスクが届きました



寄贈された色鮮やかなマスク

9月10日(木)、社会福祉協議会を通じ「副業でみんながつなげる熊本産マスクプロジェクト」に協賛の富田薬品株式会社様より、110枚の手作りマスクを寄贈いただきました。

この取組は新型コロナウイルス感染症により、収入減等の影響を受けている熊本県民が手作りしたマスクを主催団体等が買い取り、県内事業者・団体や個人に無料配布するプロジェクトです。

色とりどりの布地で作られたマスクは、どれも素晴らしい出来栄でした。職員で大切に使用させていただきたいと思います。このプロジェクトに関わられた方々へ感謝を申し上げます。

一時避難所開設 【台風 10 号】

9 月に発生した台風 10 号。特別警戒級の勢力で接近・上陸の恐れといわれ、最大 45 市町村の計 662 か所で 4 万 757 人が避難されました。さくら樹も 6 日、一時避難所を開設し、感染症対策に配慮しながら近隣にお住まいの高齢者を中心に 15 名を受け入れました。

後日、桜木東校区自治会の福本会長からありがたいお手紙を頂戴しましたので、この紙面で紹介させていただきます。今後も地域の皆さまのお役に立てる身近な施設であり続けたいと思います。



一時避難所のベッドやテーブルは間隔をあけ社会的距離(ソーシャルディスタンス)に配慮したレイアウトにしました。



福本会長の奥様から、お礼の品として色とりどりの布で作られた手作りのブローチや可愛いウサギの小物を頂戴しました。

合掌

暑い日が続く昨今ですが、シルバーピアさくら樹様益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

今迄経験したことがない強力台風 10 号の接近で、町民の高齢者家族から避難所要請がありました。

①ホテルへ避難の問い合わせをしたが空室がない。②学校避難は、コロナの関係、空調、トイレ等で躊躇して不安に悩んでいました。

シルバーピアさくら樹(春木)様に、避難要請の問い合わせをしました。検討後、丸山施設長様より避難了解を得ることができ、家族に避難了解の件を連絡しました。「心から安心しました」と大喜びしました。9 月 6 日(日曜)11 時 15 分頃に 3 家族、9 名が避難させていただきました。丸山施設長、職員の皆さまが親切丁寧に支持していただき、不安心も解消した様子でした。

9 月 6 日～ 7 日の強力台風で、避難した皆さんは家のことを心配しながらも、シルバーピアさくら樹の皆さんの「気配り」に安心して、台風の被害が小さい早い通過を願い、一晚を過ごさせていただきました。7 日朝は、まだ強風でしたが、皆さん安堵した心で無事を喜びました。

9 月 7 日 11 時頃、安全に避難できて帰路につきました。この度の台風 10 号の避難に際して、丸山施設長、職員の方々に本当に「心やさしく、親切丁寧」に接していただき避難者の心を癒していただき感謝申し上げます。

叩首

今日(8 日)は昨日の嵐がウソのような快晴です。

「愛情、誠実、感謝」の心をありがとう

令和 2 年 9 月 8 日(火曜)

福本 廣人

(※一部抜粋して掲載)

笑顔 いっぱい！ デイサービスの敬老会

今年の敬老会は 9/15（火）～9/21（月）を敬老週間として、賀寿対象の方のお祝いをしました。

今回は新型コロナウイルス対策で、フロアを広く使用し、換気等にも気を付けながら敬老会を実施しています。

景品ありのジャンケン大会や歌・ダンス・二人羽織等の職員の出し物も披露し、参加された皆さまから「よかもんが見られて良かった」「芸達者な職員さんが多かね」等たくさんのお褒めの言葉をいただき、喜んでいただくことが出来たようです。

皆さまの素晴らしい笑顔を糧に、今後も楽しい催しを行っていききたいと思います。

通所介護事業所 生活相談員 松本 真悟

祝 敬老の日



二人羽織で化粧や習字に挑戦！



自前の衣装で歌を披露した職員と記念にパチリ☆



歌に合わせて、創作ダンスの披露も...



賀寿とは…長寿をお祝いすることです。節目の年齢ごとにお祝いの名前があります。従来は数え年(生まれた時点を一歳とし、正月を迎えるたびに一つ年を足す数え方)で祝うのがしきたりでしたが、現在は満年齢で祝うことも多くなっているようです。

61 歳 / 還暦 (かんれき)
70 歳 / 古希 (こき)
77 歳 / 喜寿 (きじゅ)
80 歳 / 傘寿 (さんじゅ)
88 歳 / 米寿 (べいじゅ)

90 歳 / 卒寿 (そつじゅ)
99 歳 / 白寿 (はくじゅ)
100 歳 / 百寿 (ももじゅ)
108 歳 / 茶寿 (ちやじゅ)
111 歳 / 皇寿 (こうじゅ)

社会福祉法人百八会



○特別養護老人ホーム シルバーピアさくら樹

/施設長：丸山 和奈

住所：熊本市東区佐土原 3 丁目 1 2 - 2 6

電話：096-365-5533 FAX：096-365-6191

- 短期入所生活介護事業所 ☎ 096-365-5533
- 通所介護事業所 ☎ 096-243-3900
- 訪問介護事業所 ☎ 096-365-7600
- 居宅介護支援事業所 ☎ 096-365-5600

医療法人清和会



○水前寺とや病院

☎096-384-2288

○老人保健施設シルバーピア水前寺

☎096-384-3399

- ・訪問リハビリテーション事業所 ☎096-384-2288
- ・通所リハビリテーション事業所 ☎096-384-3399

住所：中央区水前寺 5 丁目 2 - 2 2



○平成とや病院

☎096-379-0108

- ・通所/訪問リハビリテーション事業所
- 住所：南区出仲間 8 丁目 2 - 15



○慶徳加来病院 ☎096-322-2611

住所：中央区練兵町 98



○特定施設 シルバーピアグランド通り

☎096-386-0020

○在宅ステーション水前寺

- ・居宅介護支援事業所 ☎096-384-3119
- ・訪問介護事業所 ☎096-384-2771
- ・訪問看護事業所 ☎096-384-5580
- ・地域交流推進室 ☎096-284-1025

住所：中央区上水前寺 1 丁目 6-5

あ と が き

コロナウィルスの影響から地域行事の中止や、活動の自粛など今年は人と人とのつながりが希薄になったような印象を受けました。

私自身の周りでも家族面会の規制や、研修会・会議など、以前まで普通に顔と顔を合わせて行っていたことが今ではできない状況にあります。そのような中で ICT（情報通信技術）を活用したテレビ電話での面会や、ZOOM 等のアプリケーションを使用した研修会や会議などが行われるようになってきました。

飲み会も今ではパソコン画面を眺めながら行う、オンライン飲み会なるものもあるようです。

ICT を活用することで顔を見ながら話ができるのに、どこか寂しさや物足りなさを感じてしまう今日この頃、皆様はどう思われますか？

一年前までは当たり前だったことが今ではできない日々…私が昭和の人間だからなのか…。

早く以前同様、実際に会って、距離や温かさを感じながら笑顔で話せる日が来る事を願っています。新しい生活様式、ソーシャルディスタンスは守りつつも「心の距離は密でありたい」そう思う毎日です。

地域浸透プロジェクト委員会
森下 卓